



# 健康的なライフスタイル育成に向けた 子どもや保護者への支援に関する研究

保健福祉学部 看護学科  
保健福祉学部 附属診療センター 主任看護師  
助教 土路生明美(とろぶ あけみ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス  
Tel 0848-60-1120  
E-mail : torobu@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 小児看護学

キーワード： 子ども, 看護, 発達障害, 小児がん経験者, ピアサポート, 子育て支援, ライフスタイル, 大学生

## ● 現在の研究について

### 1. 発達に課題のある子どもと保護者を対象に肥満指導や子育て支援に関する研究

本学附属診療センターでは、幼児から高校生を対象に、小児科医をはじめ作業療法士等多職種と協働し、担当看護師とともに肥満や不登校などの課題を抱える方の生活改善の支援を行っている。発達特性や家庭環境などの個別性、ライフステージに応じた継続的な支援体制、関係機関の連携が必要であると考えます。また、児童支援事業所において、発達に遅れのある子どもの保護者を対象に、健康的な生活を支援するために、小児保健に関する情報を提供し、保護者とともに健康な生活について相談にのり、子育ての悩みを共有する取り組みも行っています。

### 2. 小児がん経験者や家族の支援に関する研究

小児がん経験者や家族会の活動（小児がんを経験した子どもや家族のためのキャンプ、定例会、総会等）に参加し、フィールドワークを行ってきました。地域で生活している、若年成人期の小児がん経験者に半構成的なインタビューを行い、ピアサポートの重要性、当事者の立場から求められる支援や、健康的なライフスタイル育成に向けた支援内容について検討しています。現在他大学の研究機関と協働し、若年成人期の比較対照群となる大学生のライフスタイルに関する調査を行っています。

### 3. 小児看護学教材開発に関する研究

看護の初学者である大学生に、小児看護学を学んでもらうために必要な教材を開発し、講義や演習、実習を通して、教育実践を行っている。社会的な背景からも子どもと接したことの少ない人も多く、『子ども』や『子どもを看護する』ということをどのように理解してもらうか、小児看護技術や倫理的な問題をどう教授するか、主体的に効果的な学修をするためのプログラムを検討しています。

## ● 今後進めていきたい研究について

現在行っている研究を継続していきたい。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

### 1. 本学公開講座「すこやか子育て講座」、児童発達支援事業所、子育て支援センター

乳幼児期の子どもと保護者を対象に、保護者とともに健康な生活や子育てについて話しあう機会をもつ取り組みを今後も継続していきたい。

### 2. 小児がん経験者・小児がんの子どもの家族会

現在上記の家族会の活動に参加し、支援を行っている。看護職として当事者と協同して関わる中で、当事者のニーズを把握し、そのニーズに沿った健康的なライフスタイル育成に向けた支援内容について検討したい。

## ● これまでの連携実績

- \* 子育て支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス（保護者・スタッフ向け小児保健に関する研修会講師、児童発達支援会議に年1回参加）
- \* 知的障害者の支援者育成機関（知的障害者支援者の教育支援：テキスト作成、スクーリング講師）
- \* 小児がん経験者・家族会支援（キャンプ実行委員：学生ボランティアとともに活動支援）
- \* 特別支援学校（教員向け医療的ケア研修会講師）